

鴨川少年少女合唱団

2017春のコンサート感想文集



とき 2017年3月26日

ところ 千葉県南総文化ホール(大ホール)

『鴨川少年少女合唱団2017春のコンサート』感想 (学年はコンサート当時)

〔たくさんの『良かった』を次につなげていきましょう！〕

指導者 高橋史郎・和貴子

2017春のコンサート、いろいろ心配もありましたが、何とか無事終わることができ、ほっとしました。

アンケートや届いている声の中に、たくさんの『良かった』がありました。ジュニアの歌声がきれいで良かった。曲の紹介がとてもじょうずで良かった。よさこいソーランを久しぶりに見られ良かった。赤い半纏を着て歌った「会津磐梯山」や「ソーラン節」が良かった。OG・OBが加わる歌に厚みが出て良かった。信太郎先生のピアノがステキで良かった。スタッフの皆さんの対応が気持ちよく良かった。小さなスタッフさんのプログラム配りがうれしく良かった。健太康太さんを初めて知り歌とお話のどちらも良かった。毎年、鴨川少年少女合唱団のコンサートを楽しみにしている。今年も生きて来ることができて良かった。という年配のかたの良かったもありました。

団員の感想の中にも『良かった』が記されています。ぜひ、合唱団の仲間の感想を読んで、想いを知ってもらえたらと思います。保護者のかたやOGの感想も嬉しいです。皆さん、ありがとうございました。

合唱団は、幼稚園児から高校3年生まで年齢差は最大で13年、その差を超えて、みんな

で一つの歌を歌うことができるのが合唱団のステキな所
“歌うことが好き”“歌っていると楽しい”そして“うまくハモると鳥肌が立つ！”こんな想

いを持ってほしい！ といつも願っています。
団長の鈴音さんは、文の中に「歌うことが好きで入団した訳ではなかったけれど、少しずつ好きになり、団長になって自分でも成長できたと思う」と書いています。成長が伝わってくるすばらしい文です。

今回、鈴音さん有紀さんから「よさこいソーランを復活させたい！」と声が上がリ、川戸さんやOGがサポートしてくださったおかげで何とかステージでの披露にこぎつけることが叶いました。川戸さんの本気の指導に団員の目の色が変わり、高校生の頑張りに引っ張られてシニア全員が本気で取り組んだからこそ、意欲の見える踊りになったと思います。

ソーランを見ていて、15年以上前になりますが、八千代少年少女合唱団の歌うコダーイ作曲の『天使と羊飼』という曲を「どうしても歌いたい」と子ども達から声が上がリ、一生懸命に練習した時のことを思い出しました。ひとりひとりがしっかり音を取り、ソプラノは高音部を、アルトは低くて出しにくい音を何とか出そうと頑張りました。ア・カペラ（無伴奏）曲でなかなか上手にならない中、「歌いたい！」「歌えるようになりたい！」という強い想いが支えになって何とか最後まで歌い切れた時、団員から拍手が湧き心から感動したものです。

一生懸命練習した曲は身体の中にずーっと残ります。今回一生懸命頑張ったソーランを見ながら“次はこの感動を歌でも是非！”と思いました。

コンサートは、大勢の人の想いが集まって出来るものです。「一生懸命歌う子ども達を応援しよう」と多くのかたが協力して下さるおかげで、南総のような素晴らしいホールで歌うことが出来ます。

2017春のコンサートにも、安房の地域はもとより、石巻からも柏や横浜、東京や千葉からも多くのかたが足を運んでくださいました。感謝を忘れず、8月20日の夏のコンサートにつなげていきましょう。

〔いっしょうけんめいがんばったことは、かならずからだのなかにのこり、じしんになるとしんじています〕

本当にありがとうございました。

高校1年 川戸 来美

今日のコンサートは、高2にとって最後のコンサートだったから、最高のステージにして送り出そうと思ってやりました。

メゾは、リハーサルのおかげで声が聞こえないと言われ、本番ぎりぎりまでみんなで練習して、どうなるか正直不安だったけど、みんながとにかく笑顔で歌ってくれたし、声もリハーサルよりは出ていたかなと思ったので良かったです！！

ずっと緊張してたソーランも、全力で踊りきることが出来、達成感がすごく感じられました！健太康太さんのステージは、歌はもちろん、途中で話してくださったお話などが、とても心に響きました。心のピッチを合わせて歌うという言葉、絶対に忘れません！最後に一緒にやらせていただいた「おながく」がとても気に入りました。

OB、OGのみなさんに支えられて、3部も無事にできたと思いました。

すずねちゃん、ゆうきちゃんが笑顔で卒団できたのが、何よりも嬉しかったです。

もう、来年なんだなあと思うと自然に涙が零れそうになるくらい寂しいです。

これからは私たちが引っ張っていく番なので、すごく頼りないと思いますが、全力で引っ張って行って、今までで一番いい代にしたいです！！

これからも頑張ります！

中学3年 濱崎 優直

今回の春のコンサートは団員、先生はもちろんOG、OB、保護者の方々の協力があった成功したコンサートだと思いました。今回のソーラン節は、練習の時は一つ一つの動きが小さくなったり、動きがバラバラで揃わなかったり課題がたくさんあったけど、本番ではみんなの動きが揃って、動きも大きくなり、声も出ていて一番良いソーラン節が踊れたと思います。アカペラは、メゾの音量が少なかったり、声がまとまらなかったりたくさん課題が見つかったので、この反省点を次に生かし、より良いアカペラの曲が歌えるようにしたいと思いました。また、健太康太さんのお話を聞いて気持ちを込めるのは本当に大切なんだと改めて感じました。一曲一曲の歌詞の意味を考えて歌おうと思い、本番ではしっかり考えて歌うことが出来ました。表情も意識して歌うことが出来ました。

今回の春のコンサートでは、まだまだ直さないといけない課題が見つかり、もっと練習が必要な曲もあったのでしっかり練習していこうと思いました。また、たくさんの方の協力があったことも忘れず、笑顔、あいさつ、感謝の気持ちをもって夏のコンサートに向けて頑張りたいと思います。

保護者 吉田恵利子

今日はお疲れ様でした！

みんなきっと練習してきたことを出せたコンサートだったとおもいます。

体調悪くしてしまった方がとても残念です。まきもあやも去年よりは、がんばれたかと思えます。

団長の鈴音ちゃんが入ったころはあまり好きではなかったと知りびっくりです。

今は一言一言が心がこもっているなあと思います。

まきとあやから、急に歌うことになったと、燃えあがれ雪たちを帰ってから何度も練習していて実はそういうこととわかって、先生方は忙しいのにすごいな、そうしてみなさんを嬉しい気持ちにしているんだと思い、自分にも生かそうと思いました！

まきも帰ってから健太康太さんのプロフィールを読んでいました。

貴重な、経験ありがとうございました。

小学5年 吉田 真己

昨日は、私は初めてよさこいソーランをステージで踊って、いつもより緊張していました。舞台袖で待っている時ゆうみちゃんが 緊張してるほうが上手に歌えるよ！ と言ってくれて嬉しかったです！❤️私は汽車三題が上手に歌えました😊帰ってからプログラムの卒団によせてを読んで、鈴音ちゃんが最初は歌が嫌いだったのに団長になってすごいなと思いました！夏のコンサートも張り切って行きます!!🐱

『2017年 春のコンサート』

小学5年 清水 直緒

オープニングの「よさこいソーラン」では、少し間違えてしまったけれど、しっかりとポイントを思い出して出来たので良かったです。

第一部では、一番心配だった「会津磐梯山」「ソーラン節」が、間違えないでしっかり歌えたけれど、声が小さかったのが反省点です。

第二部の健太康太さんのステージは、とてもすごくて自然に体がゆれました。歌声がとてもきれいでした。「ふるさと」を一緒に歌って、とても楽しかったです。健太康太さんの歌はとても素敵だったので、また聴いたり一緒に歌ったりしたいと思います。

第三部では、どの歌もしっかり声を出して歌えました。それに、表情も自分の中では良かったと思います。

コンサートはいつも緊張の方が大きいけれど、今回は、楽しい気持ちが大きかったです。この一年間で一番良いステージになったと思います。

小学1年 吉田 あや

きのうは、ジュニアのやつが、うまく行ってよかったです！楽しかったからよかったです！おわり

『春のコンサートの感想』

小学6年 犬石 彩貴

私は初めて合唱団でよさこいソーランを踊りました。ほとんどの練習に参加してきて始めは分からない所がたくさんあって大変だったけど、練習していくうちに分かるようになりました。団長さんが、「最初の方はこしが低くていいけどどんどん高くなるから気をつけて」とアドバイスしてくれました。私は練習するたびにこしをなるべく低くすることに気をつけてやりました。コンサート本番では、すごく緊張していましたがせいっぱい踊り終わった後、私の中ではもう少しできたかなと思いました。

第一部の中には一つだけ苦手な曲がありました。それは、会津磐梯山です。何回も音取りをしたのに、なかなか覚えることができませんでした。メゾだけでやると分かるけど合わせると分からなくなってしまいます。本番では、少し間違えたけど、頑張りました。これからこの曲をもっと練習しないといけないと思いました。

第二部は健太康太さんのステージでした。お兄さんの健太さんは健康ではなかったけど、最後まで一生懸命歌っていて私も一生懸命心をこめて歌いたかったです。

第三部で私は、花は咲くを一番心をこめて歌いました。雨の中たくさんの方が私達の歌を聞きに来てくださったので感謝の気持ちを歌で伝えました。アンコールの怪獣のバラードは私の好きな曲です。振り付けがあり、元気が出る曲で、お客さんが手拍子をしてくれるからです。コンサートに来てくださった方、ありがとうございます。卒団した二人を目標に、これからも一生懸命頑張ろうと思いました。

保護者 川戸 昌子

和貴子先生から「ソーランの練習の手伝いをしてほしい」と言われたのが、昨年10月でした。歴代の団員の踊る姿は見ていても、自分自身は勿論、子供も踊ったことのないのに…と思いはしましたが、高校生の「やりたい！」の想いに何とか答えてあげたくて、参加させてもらいました。過去のビデオを見て、右だ左だと頭を悩ませ、どうにか高校生の力も借りて、ある程度の流れができたのが今年の2月の初め頃。コンサートまであと2ヶ月を切り、焦りだけが募りました。なかなか集まらないメンバーに困った事もあったけど、3月に入ってから8割くらいは常に集まれたので、細かな動きを合わせることができました。

さあ、いよいよ本番のステージ。もしかしたら、子供たちよりもドキドキしていたかも！袖のモニターに映る子供たちの踊る姿に感動して、涙目になっていました。終わった後のみんなのキラキラした顔が、目に焼き付いています。年齢層がこれだけある中で、1つの事を力を合わせてやる！合唱団じゃなければできない事です。関わらせて頂けた事に、本当に感謝致します。ソーランでできた絆、健太康太さんとの出逢いで教えてもらった『気持ちで歌う大切さ』を、今後に活かして欲しいです。今回歌うことのできなかつた〔証〕、夏に聴いたら嬉しいです！

高校3年 鈴木 柚奈

今回の春のコンサートは、合唱っていいな、と歌うことがさらに大好きになったコンサートでした。私は歌う時に喉や顎、肩に力が入ってしまいます。こう歌いたって思いに対して、歌い方が比例していなくて、史郎先生に何度も練習に付き合っていたのに、正直卒団した今でもそれは直っていません。直らなくて本当に悔しいし、その状態で歌っていたのでみんなの歌声を邪魔してしまうからいつも申し訳ないな、と思っていました。でも歌うことは素直に楽しくて、当日はその悩みは気にしないでリハーサルの時から自信を持ってステージに立とうと決めていました。

私には苦手なこともありましたが、ア・カペラを歌うことです。今回のプログラムは、ア・カペラ曲が多い構成で不安でいっぱいでした。でも練習を重ねていくうちに、ア・カペラ曲を歌うことの楽しさに気がつきました。高3になってやっとです。このことに気がつけてよかった、克服できてよかった、と思っています。

史郎先生もおっしゃってたけど、健太康太さんの『どんな時でも心のピッチだけは合わせる』という言葉に私もとても感動しました。だから本番では、強い気持ちでお客様の心に響くように、一つ一つの曲を一生懸命歌いました。

また、私はソーランをずっと踊りたかったのが、今回みんなと一緒に踊らせてもらえて嬉しかったです。体力はないけど、声と笑顔は誰にも負けてなかった自信があります。何より川戸さんのご指導があったから、かっこよくて素敵な踊りを披露することができました。本当にありがとうございました。

現役最後のコンサートだったので、最後まで笑顔でいたかったけど、卒団式の時ボロボロ泣きました。先生の顔を見たら、やめて～ってくらい大量の涙が出ました。合唱団の一員として、あの場にいられるだけで幸せな気分になって、温かい気持ちになって、私にとっての合唱団の存在の大きさを知りました。

最後に、先生方には大切なことをたくさん教えていただきました。笑顔、あいさつ、感謝の気持ち、合唱団は私の自慢です。今までありがとうございました。

同級生4人には感謝してます。芯が強くまっすぐな4人の存在は、私を支えてくれました。卒団したけど、5人集まって制服を着て立ったラストステージは最高でした。また夏に会おう。

新高3卒団おめでとう。2人で協力して団員をまとめて、辛い時期も乗り越えて、気持ちをまっすぐ伝えていた2人は、とてもかっこよかったです。お疲れ様でした。

新高2は学年の絆がすごく強く仲良しで、パワーをいっぱいもらいました。この学年が作っていく歴史は濃いものなんだろうなと思います。頑張れ。

『春のコンサートを終えて』

高校1年 鈴木 麻由

高校生になってから初めての大きなコンサートで今までは自分のことでいっぱい全体を通して見る余裕がなかったのですが、全体見なければいけない立場になり今までにはない不安がたくさんありました。また部活と重なり練習も参加出来ないことが増えていた中リハーサルを終えてなぜか自分の中の不安が消えていく感じがしました。リハーサルでは誰かがあまり口出しすることなく団員が自分で動いていた気がしました。ジュニアもしっかりとした態度でとても安心しました。ソーラン節もみんなで頑張ることができて周りから褒められることが多くなり嬉しかったです。

本番も自分の全力を来てくれた方々に伝えることが出来たのではないかと思います。

健太康太さんは歌も話もどれも素晴らしくて一つ一つの言葉に重みがあり心に響きました。

私も自分なりに歌を続けていこうという気持ちになれました。

これからの残り少ない団員でいれる時間を大切にし、

合唱団のモットーである笑顔挨拶感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思います。

高校2年 若月 鈴音

無事、春のコンサートが終わりました。全員が練習にそろうことは一回もなく、二月になっても全員の気持ちが「コンサートに向けて頑張ろう！」と一つになれなくて、ずっと不安で焦ってました。コンサートを成功させたいという気持ちは誰よりもあったけれど、気持ちだけじゃだめなんだ、行動に移さなきゃと思い、合宿ごろからやっと団長らしくなれたと自分では思います。それでもなかなかうまくいかなくて、三月になってやっと私の気持ちがみんなに伝わった気がします。三月からは、本当にみんなよく頑張ってくれました。

よさこいソーランをどうしてもやりたくて、でも現役では誰もやったことがないから1からのスタートでした。主として指導していただいた川戸さんやOGの直佳さんには本当に感謝しています。私たちの力だけではきっとできませんでした。間に合うか不安だったけれど、やってよかったです。ソーランをやるときのみんなの顔はキラキラしてたし、祖母や私の友だちもソーランが感動したと言ってくれました。私はソーランで緊張しすぎて、自分の100%の踊りができませんでした。それで途中で踊りを間違えて、最後までとりあえずやり切ったけどほとんど覚えてません。悔しくて悔しくて、家に帰っても思い出すと涙が出てきてみんなにも申し訳なかったです。袖にはけたあとすぐに泣いてしまって、でもみんなは「全然大丈夫だよ。まだここから挽回できるよ。」と言ってくれて、本当に救われました。

気持ちを切り替えて臨んだ一部。ア・カペラも心配してたけど練習の成果が出て、いい緊張感をもってできました。三部はOG・OBの方も出ていただいて安心して楽しく歌えました。この時間がずっと続けばいいのになってすごく思いました。だからとにかく終わっても後悔しないように歌いました。

そして、今回のコンサートには健太康太さんに出演していただき本当にいい思い出になりました。歌声はもちろん、二人の生き方や考え方、全てに感動したし、刺激をもらいました。心のこもった歌を聞いて私もあんな歌が歌いたいと思いました。また機会があったらぜひ一緒に歌いたいです！

卒団式もたくさんの方に来ていただき、祝ってもらえて本当に嬉しかったです。十年間続けてきてよかったです。私の学年はもっとたくさんいたけど、みんな引越などやめていきました。一人減るたびに「私もやめようかな。」と何回も思いました。今、同じ学年が有紀ちゃんだけだから、仲間の存在がどれだけ大きいかとてもわかります。みんなには自分一人の存在の大きさをもっとわかってほしいです。

最後になりましたが、コンサートをやるにあたって関わってくださった全ての方に感謝しています。本当に最高のコンサートになりました。ありがとうございました。

幼稚園 泉 菜月樹

コンサートが始まる前に、お手紙を書いた人がプレゼントを持って僕に会いに来てくれたのがとてもうれしかったです。

僕のことを女の子だと思っていて、女の子のプレゼントでした。

初めてのコンサートでドキドキしました。最初のご挨拶が特に緊張しました。何回も練習したので上手く言えました。

ジュニアだけの歌も楽しく歌えました。健太康太さんの歌が、大きな音でびっくりしました。でも、とてもいい歌でした。

鈴音ちゃんとゆうきちゃんが卒団してしまってとても悲しいです。

小学4年 泉 優樹

毎週日曜日の3時間の練習は長くて大変だけど、がんばって練習したからいいコンサートになりました。

僕は前日からコンサートが楽しみで、遠足の前の日みたいにわくわくしていました。

本番、緊張するかと思ったけど全然緊張しないで、楽しく歌えてよかったです。

夏のコンサートも楽しみです。

保護者 泉 稔子

合唱団の2015年の夏のコンサートを聴かせていただき、とても感動し、自分の子どもたちも合唱団に入れていただいて

一緒に歌えたらいいなあ・・・とずっと願っておりました。それが実現し、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

響きの良い大ホールで、すばらしい指揮とすばらしいピアノ伴奏で歌うことができる！こんなに感謝ことはありません。

毎週日曜日、3時間の練習は優樹・菜月樹にとって、かなり大変なことでした。でも、良い演奏をするにはそれだけの練習をしなければならない、練習の成果が本番にわかる、ということが、今回、少しわかったみたいで嬉しいです。

そして、夏のコンサートを今から楽しみにしている姿がかわいいです。

卒団式の中で、健太・康太さんが、「ダイヤモンドはダイヤモンドによって磨かれる、人も人によって磨かれると思う。」と

話されたことが心に強く残りました。そして、鴨川少年少女合唱団の皆さんとご一緒だと、きっと素敵に磨いてもらえる！と

心から思いました。

高校1年 堀江 祐丞

あまり練習には参加する事は出来なかったけどなんとか歌えてよかったです。

荒城の月も声を大きく出せてよかったです。

これからも頑張っていきたいです。

『2017年 春のコンサート』

保護者 清水美也子

今年も、会場係としてお手伝いをさせていただきました。

会場の柔らかく温かな雰囲気は、合唱団の皆さんの優しく澄んだ歌声と、楽しみに来て下さるお客様の温かな気持ちが重なって創られるのでしょうか。ひとり、ふたり…。お客様が、こんなにもたくさん足を運んで下さるようになるまで、どれだけの団員の皆さんが、どれだけ大切に歌い続け

てきたのでしょう。その積み重ねた時間を 想うと、今、自分の娘と一緒に歌わせていただける事、ありがたい 気持ちでいっぱいになります。

会場には、小さなお子さんを連れてお客様もいらっしゃいました。最初は、お母さんの膝の上と一緒に音楽を楽しんでいましたが、なかなか長くは難しいですね。きっと誰もが幼い頃そうであったように、動いたり声を上げたくなくなってきます。子どもの様子に合わせ、お母さんはそっと席を外されました。子どもの心の栄養に…。そんなお気持ちで、コンサートに足を運んで下さったのかな。短い時間でしたが、ソーランや日本の歌を楽しんでいただけたかな。来て良かったと思っていただけたかな。様々な年齢の方が、様々な状況の中聴きにきて下さる事は、なんてありがたい事なんだろうと、改めて感じました。

たくさんの方々の支えがあり、たくさんの準備を重ね、そしてまたたくさんの方々の力をお借りしてコンサートが開催される。そして、たくさんのお客様が聴いて下さり、「ありがとう」「良かったよ」と声をかけて下さる。一人ひとりに届けられる合唱団の歌声は、まるで花束のようですね。皆さんが、贈り物を受け取って、大事に抱えて会場を後にされているように見えました。

日々を積み重ねる中、一人ひとりが輝きを増し、夏にはどんな花束を贈る事が出来るかな？楽しみです。

保護者 濱崎 香恵

今回は、ソーラン復活で懐かしく嬉しかったです。川戸さんのご指導で段々みんなの気持ちの一つになり当日は本当に素晴らしい踊りができました。私達保護者も素晴らしいコンサートになるように子供達を支えました。

コンサートが終わりお客様お見送りの時に、お客様から「素晴らしかった」「夏も来ます」「感動で涙が止まりませんでした」等、沢山のお褒めの言葉を頂くことが出来ました。

保護者 堀江 俊臣

天候が芳しくないにもかかわらず、たくさんの人たちが来場してくれた春のコンサート。

団員、OG、OBの素晴らしい歌声に、会場が感動に包まれました。

石巻から来てくださった高橋さん、芳賀さんにも、喜んでもらえたことと思います。

歌には、聞いている人にだけでなく、歌っている人自身にも、希望と明日を生きる力を与える力があると心から感じました。

これからも、団員が一つになって、歌うことの素晴らしさを感じてほしいと思います。

『春のコンサートの感想』

中学1年 渡辺 杏奈

今回のコンサートはとても楽しかったです。

あまり体調はよくなかったけれどもステージでは全力を尽くして歌えたと思います。

健太・康太さんの歌は涙が出るほど素晴らしかったです。

夏のコンサートに向けてまた練習を頑張りたいです。

『いつも、お世話になります』

保護者 鈴木 雅子

春のコンサートでは、現団員がみんな初めてだったソーラン節が、とても印象的でした。きっちり揃っていて「かっこよかった」。練習は、2回程しか見ることができませんでしたが、みんなの頑張りが、伝わってきました。

2部の健太康太さんのステージと、3部の途中までは卒団式の準備であまり見れなかったのが、残念でした。

ジュニアの憧れの赤半天での演奏も良かったです。コンサート当日、ホールへ向かう車の中

でアカペラの音取りをしていた麻由の一言「ジュニアの頃、コンサートで歌いたくて歌いこんだから体がおぼえてるんだよね」…子供達も、いろいろな思いを抱えてコンサートに取り組んでいるのだなと思いました。子供達の歌声はあたたかく、聴いている私達の心に届きとても良いコンサートでした。

帰宅して写真を見たら笑顔であたたかい表情で歌っている子供達が多くて嬉しく思いました。私も、保護者としてコンサートに関わらせて頂いて良かったと思います。高校生にもなると、あまり関わらなくなるので貴重な時間を過ごせました。

最後になりましたが、ご指導頂いた先生や、関係者の皆さまに感謝しております。

OG 鈴木 愛子

今回のコンサートは船橋から参加させていただきました！久しぶりに成長したみんなに会えること、久しぶりにみんなで歌が歌えること、久しぶりに先生に会えること、これが楽しみで、26日がとても待ち遠しい日々でした。

一人暮らしなので音とりもできず、YouTube で花は咲くを聞いて、頑張って歌詞を覚えたんですが、その練習してる時もなんか楽しかったです（笑）

コンサートでは、自分が卒団の時にジュニアだった子が高校生になっていて、何か歳を感じましたけど、ほんと楽しかったです。

OGの中でもなおかちゃんの次に私が年上で、より歳を感じましたが（笑）

今、作業療法士として、船橋の総合病院で勤務しているのですが合唱で歌ってきた曲が、結構ためになっておりました、患者さんと歌えています！認知症の方や自分の身のまわりのことが何もできない患者さんでも、歌を歌える人はいっぱいいます！歌のレクの時間を楽しみに待ってる人もいます！歌のレクで色々思い出して泣いちゃう人もいます。そんなとき、私もいつも合唱のこと、思い出すんですよね！

ほんと歌ってすごいなーっていつも思います！

合唱に入っていたからこそ、こんな経験できたし、今でもこうやって参加させて舞台上で歌えていることがほんと幸せだと思います。

私が小学校の時からお世話になっている学童の先生がいるんですが、その先生は私がジュニアの時から、合唱のコンサートに来てくださっていました！もう卒団してからだいぶ日にちも経つし、まさかもうこないよなーと思っていたけど、26日のコンサートにも来て下さっていました！ほんと昔から愛され続けている合唱団だなんてつくづく思います!!

言いたい事がいっぱいありすぎて、いっぱい書いちゃいました！（笑）

でもほんとに参加できて凄く凄く嬉しかったです！

またコンサート、ぜひ参加させてください🎵🎶

小学6年 山口 郁斗

今回、コンサートをするための練習に全然行けず、ソーランを覚えることができませんでした。

春休みに家で姉に教えてもらい、なんとかコンサートまでに間に合ったけど、歌の方は覚えきれず足手まといになってしまいとても申し訳ないと思っています。

これからは、ソフトボールの練習がなくなり合唱に行ける回数が増えると思うので、今度は歌を完璧に覚えたいです。

中学3年 山口 春萌

一番記憶に残っている所は皆と踊ったソーラン節です。

振り付けを、川戸さんやOG・OBの皆さんが細かい所まで熱心に教えてくれたので一生懸命覚ええました。

私は二列目で、難しかった所があったけれど、ミスせず、振りも忘れずに踊れてよかったで

す。

また、健太康太さんと歌った「ふるさと」も印象に残っていて、曲のアレンジは、「流石プロだなあ。」と思いました。

私たちが歌った中では、「会津磐梯山」が一番記憶に残っていて、高い音が出なかつたり、二番の歌詞があやふやになつたり、とつても悔しかったです。私は、この曲が好きなので、ちゃんと歌えなかつたことが嫌です。

だから、次に歌う機会があれば、歌詞を確認して、高い音も出せるようにしたいです。

『2017年春のコンサート感想』

高校2年 大溝 有紀

良いステージになったと思います。心残りの点はありますが、やりきることが出来たと思います。

はじめてのよさこいソーランも、本番までに仕上げることができよかつたです。一人一人が頑張つたから出来たのだと思います。

歌では、私は始めてソロパートを任せられました。始めた頃はボロボロでしたが、なんとかうまく歌えるようになって嬉しかったです。全体としてみて、ジュニアもシニアもよかつたと思いました。

コンサートが成功したのは団員みんなの協力と努力のお陰だと思います。本当にありがとう。そして、先生方や保護者の方、そして、見に来て下さつたお客様のおかげでもあります。

4年間ありがとうございました。

高校1年 大塚 菜緒

春のコンサートを終えて1番感じたことはステージに立つことの喜びとお客様の温かさ、そして何より感謝を忘れてはいけないということです。今回のコンサートではいつも以上にたくさんの方に支えられてステージに立てた気がしました。

ソーランが成功したのは熱心に指導してくださつた川戸さんのおかげだと本当に思います。また、高校生になり日曜日も部活があるため送迎など合唱の練習に少しでも参加できるようにしてくれた親にも感謝しています。「合唱団のコンサートを楽しみにしている」というお客様からのメッセージからは嬉しさと共にもっと頑張ろうというやる気を頂きました。

健太康太さんのうたからは迫力と健太康太さんの真つ直ぐな心を感じました。お2人の一言ひとことが心に響きました。お2人のように誰かのために行動できる人になりたいと思いました。

高校生として立つステージはこれまでのステージとは違いました。責任感と不安と楽しみな気持ちと高2のためにも良いステージにしたいという色々な気持ちがありました。

1年後は自分が卒団だという実感があまりないけれど、現役最後の1年 笑顔 挨拶 感謝の気持ちを忘れず頑張つていきたいです。

保護者 清水 健彦

こんにちは。清水直緒の父です。遅くなりましたがコンサートの感想です。今回はずっとビデオ画面越しに見る事になり、また違つた感じで見えました。みんな本当によく練習でやつた事が出せて、観客の皆さんにも伝わつたと思います。またリハーサルでの健太康太さんのお話に、音楽に対する向き合い方などこども達も感じるころがあつたように思います。その場で少し雰囲気が変わつた気がしました。彼らには是非また来て頂きたいと思いました。みんな素直な分？緊張や自信なさげなところも表に出ましたが、それはまた良い事だと思いますし、次はどうしようかとそれぞれ考えてくれれば良いと思います。とても良いコンサートで、まるまる見られて本当に良かつたです。が、もっと良いもの出来るんじゃないかな、というのと同時に思いました。こども達の素直な気持ちが届く素敵なコンサートでした。先生も保護者の皆さんもお疲れさまでした。ありがとうございました。

・・・ついでですが、皆さんご家庭やお仕事の事情もおありで難しいのでしょうか、お父さん方も直接見たり準備に参加されたりすると家庭と違う面が見られたり、こども達にとっても良いんじゃないかな、と思っています。

保護者 佐藤 桂子・皓月

春のコンサート、お世話になりました。ありがとうございました。
初めての南総文化ホールだったので、リハーサルで壇上に上がってホールの大きさに「ウワッ!!」と思って緊張したけど、本番はとても楽しかった!という子供っぽい感想でした。
当日の朝にも話しましたが、やはり苦手な事をしっかり理解し、きちんと取組む事。もう5年生だから自分で・・・とは思いますが、苦手な事はやはり何歳になっても克服しない限りは苦手なので、合唱の練習日にはしっかり先生の話聞く事!十本番に向けて振りがあるものは家でも!と考えました。今まで、歌が好き→合唱団が楽しい→本人に任せるでしたが、本人のSOSに気づいて一緒にやっていたらと思っています。
前日の練習で気づけて良かったです。練習終わりに、家に来て教えてくれた庄司由季ちゃんには本当に感謝しています。
スタッフとしてのお手伝いも南総は初めてだったのですが、皆さん親切で助かりました。普段の練習もそうですが、合宿やコンサートのリハーサルから本番という経験を通して「カイトくんのように歌いたい!」「たくみくんのように親切な人になりたい!」と目標とする人がいるという事はとても嬉しく思います。

小学5年 川名 佑磨

僕は、練習の時より本番の方がうまくできました。
ソーラン節は、声が大きく出ている、裾をつかんで放すところもうまくできました。
卒団式はとても楽しくて、よかったです。
夏のコンサートでも明るく、元気よくやりたいです。
あと、人に会ったら大きな声であいさつをします。

小学6年 小原 千奈

始めて南総文化ホールで歌って、私はすごく緊張しました。先輩の人たちやOGの方に大丈夫だよ。と声をかけてもらい少し緊張がおさまりました。ソーラン節間違えそうになってしまいました。凄い焦りました。歌はいつもより声が出てたと思います。卒団式6年生で歌を歌おうとなった時、歌詞を一瞬忘れました。私たちの学年はいつも急だなと思いました。歌に気持ちはこめられたのでよかったです。部活が忙しくなっても合唱は辞めません。これからもよろしく願います。

高校3年 長谷川奈緒

今回の春のコンサートは私にとって合唱団の制服を着て歌う最後のコンサートとなりました。進路の関係で練習に参加させていただいたのは2月からでしたが、現役だった頃のように先生や団員のみんなが自然に迎えてくれたため安心して練習に参加することができました。練習段階では人数がなかなか集まらなく歌の心配などもありましたが、回を重ねるうちに高校生が団員に指示をしたり意見を言っている姿が見られ、みんなの成長と良い雰囲気が作られていることなどが感じられました。コンサート本番では緊張や不安もありましたが、無事に終わることができ本当によかったです。また、今までの合唱団で過ごした日々を思い返しながら一曲一曲大切に歌うことができました。私たちのコンサートに足を運んで下さった方々や保護者の方々をはじめ本当にたくさんの方々の協力があり歌うことができるため感謝の気持ちでいっぱいです。素晴らしい歌声で歌って下さった健太康太さん、関わって下さった全ての方々、本当にありがとうございました。

『春のコンサートを終えて』

中学1年 星場 未宇

最初はソーランで今までで一番しっかりと声とかも出ていてよかったです。合唱は疲れたけどしっかりと歌えてよかったですと思いました。終わりの方は、疲れて大変だったけどやりきったっていう感じの方が多くて、とても楽しんで歌えたと思います。

『2017春のコンサートを終えて』

保護者 若月 祐子

コンサートに関わってくださった、たくさんの方々、聴きにきてくださったお客様、そして、史郎先生、和貴子先生、信太郎先生のおかげで、2017春のコンサートを無事に終えることができました。合唱団の子どもたちは、こんな素晴らしい経験ができて、とても幸せだと改めて感じます。また、このようなコンサートができるのは、自分たちだけではなく、合唱団がこれまで築いてきたもののおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

保護者会の皆様にも、大変ご協力をいただき、ありがとうございました。今回の反省を次のコンサートに生かしていきたいと思います。

高校3年 堀江 南帆

私は、高3で受験があったので、昨年の春のコンサート以来、練習に参加していませんでした。1年練習していなかったなので、現役として歌うことはできないと思い、OGOBも入って歌う曲だけ歌うつもりでした。しかし、歌ってもいいですか？と和貴子先生に訊いたらぜひ歌ってと言ってもらえたのでとても嬉しかったです。

本番まで、4回しか練習に参加できませんでした。練習に参加してから本番までの期間はとても有意義な時間になりました。練習でソーランを一生懸命踊っているみんなを見て、とても感動したし、何かに情熱を持って取り組む人を見たのは久しぶりだったので、鳥肌が立ちました。合唱団のコンサートを楽しみに来てくださる方の気持ちが本当に理解できました。みんなが頑張ってる姿は人の気持ちを確実に変化させます。有意義な時間を過ごすことができたと感じたのはその変化からだと思います。

本番は、1年ぶりでもとても緊張しました。11年やっても、1年開くと緊張するんですね。舞台袖で、緊張してきた。あー緊張する。と、連呼していました。歌い始めたら緊張はなくなりました。一部は、アカペラ、特に汽車三題が走ったので、歌いながらハラハラしましたが、無事歌い終えたので、良かったです。健太康太さんの歌も、「想いを伝えたい」という気持ちがまず伝わって、感動的でした。お話をお聞きして、歌う目的が誰かに想いを伝えるためなんだと思いました。三部もOGOBと久しぶりに歌うことができて良かったです。制服を着て歌う最後の怪バラ、とても感慨深いもので、笑顔で歌いました。

今回で、完全に現役を引退ということで寂しいです。生まれてから18年、合唱団に所属してから12年です。2/3は団員として過ごしてきたのですから、寂しいのは当たり前ですが、予想していたよりは平気そうです。1年ぶりに公民館に行って入る時、どんな感じで練習に参加したらいいんだろうと、不安でしたが、1年前と同じように接してくれて、つい先週も来てたくらいの感じで話しかけてくれて、とても嬉しかったです。いつでも帰ってきていい場所というのはこういうことなんだとわかりました。その安心感のおかげであまり寂しくありません。合唱団に所属して、たくさんの人と関わって様々な経験をしたり、練習もいろいろな学校の、幼稚園保育園の子から高校生までの子が集まったりすることで、社会に出て役に立つことや、人に対してちゃんと向き合う姿勢を学びました。鴨川少年少女合唱団の団員でよかったです。

『初めてのソーラン節』

小学6年 佐久間大輝

春のコンサートに向けてソーランをやってみたくてみんなで決めて沢山練習をしてきました。なかなかうまくできない時もあるって、気持ちが落ち込んだこともありました。だけど、コンサートを見に来てくれる人や教えてくれる先生、川戸さん、合唱団を応援してくれるお母さんお父さんたち、合唱団みんなのために頑張ろうと思いました。コンサートの日、僕はあまり緊張しませんでした。合唱団の仲間がいるから絶対成功できると思ってステージに立ちました。コンサートがはじまり幕が上がると沢山のお客さんが見えました。ソーランを踊っているときは練習の時に言われたことを思い出してやっていました。最後センターの決めポーズの時、拍手がすごくてびっくりしました。ライトもまぶしくて、ソーランやって良かったと思いました。

小学3年 渡辺 桃佳

今回、3回曲紹介をして練習では、なかなかうまくできなくて、心配だったけど、本番でうまくできてよかったです。ジュニアだけで歌っためだかの学校が春らしく歌えたかなあと思いました。

中学3年 根食 拓海

このコンサートが、僕が合唱団に入って初めてのコンサートで、緊張もしたけど、ソーランなど練習の成果を出せたと思う所もあるので良かったです。

夏のコンサートもあるのでこれからも自分なりに工夫して練習していきたいと思います。

高校1年 平野菜々葉

部活でほとんど練習に参加出来ないままの春のコンサートでした。特によさこいソーランの踊りは、練習で踊る度にひどい筋肉痛になっていたの、体を慣れさせるために1日1回は踊り、下半身を強化しました。曲は、知っている歌ばかりだったので1日1回は歌うか聴くかをして歌詞と強弱を覚えめました。中高生女子の曲が「証」から「童神」になったけど、気持ちは変わらずに歌えました。「証」はまたどこかで歌えたらいいなと思います。来年も春のコンサートがあったら同じような流れで来てしまうと思うけど、悔いなく終わりたいです。

保護者 若杉ひとみ

入団して初めて大きなコンサートでした。子供達にとって、これからの繋がる大きな経験だったと思います。親としては、改めて、しっかりとした歴史のある合唱団に入団し、先生初め、年上の子供や、他の親御さんに支えられて、当日を迎えられたことに、感謝致します。これからも、普段は消極的な子供ですが、大好きな合唱を通じて、成長していけたら良いと思います。これからも、よろしく願いいたします。

『春のコンサート』

高校3年 小川日菜子

2017年春のコンサート、私にとっては1年ぶりに合唱団に戻ってくる機会でした。

久しぶりに練習に参加すると、みんなが話しかけてきてくれました。すると、なつかしく、安心感がこみあげてきました。これが合唱団だ！！と感じました。周りの団員たちがみんな少し大きくなってることにも驚きました。特に高2のふたり、なんて頼れるお姉さんなんだろう！！！！と感動しちゃいました。そしてついに本番、ソーランからのスタートでしたが、カッコいい！！！！すごい！！！！圧倒されました。ソーラン踊っておけばよかった、、、と本当に痛感しました、、、！！！！ジュニアの子たちの曲紹介もとても聞き取りやすかった！！久しぶりに歌ったアカペラの曲はみんなよく歌えた。思い出すのに時間がかかるかもしれないと考えたのですが、体が覚えていたのでしょうか、自然に歌えました。第3部では、「ああ、最後の制服だ！！！」とずっとしみじみと感じていました。すこしさみしくなりました。でも何年たっても、こうやって怪獣のバラードを踊るのは楽しい！！！！！！心が明るくなりました。このコンサートがおこなえたのは、たくさんの方々のおかげです。OBOGの方々、保護者の方々、健太康太さん、先生方、本当にありがとうございました。この団員のみんなと歌ってきて、本当によかった！合唱団はいつも変わらずに、私を支えてくれた大切な居場所でした！！団員のみんなもこういう居場所をずっと大切にしてほしいです。またこうやってひとつの場所に集まってみんなで一緒に歌えたら、とてもいいなと思います。

中学1年 吉野 快

今回の春のコンサートでは色々な事を感じました。そしてよさこいソーランでは大変で疲れましたが、精一杯踊ることができて良かったです。夏のコンサートでもよさこいを踊るので、もっと上手になりたいです。

小学5年 吉野 爽

私が入団してから4回目の春コンでした。私は2、3、4年生はジュニアでは可愛く歌うこと、シニアでは笑顔を常に意識して歌うことに心がけました。シニアになって練習をたくさんして、色々な経験を積んでいきました。私的には笑顔で歌えたと思います。こういう経験に感謝しています。これからも「笑顔」「あいさつ」「感謝の気持ち」を持って頑張りたいです。

保護者 吉野 水紀

卒団式での子供達の様子で、今回のコンサートはほぼ満足した形で終わったんだなと感じました。率先して歌う姿に「みんな本当に歌が好きなんだな」と感じさせられました。自分の駐車場の係が終わった後、会場の係を手伝いに行ったのですが、健太康太さんの部が終わって休憩時間にドアを開けて立っていたら「良い人を呼んだね」と、あるおじさんが声を掛けてくださいました。子供達の歌だけでなく、共演した方にも共感してもらえる出会いがある事を大変嬉しく思いました。お疲れ様でした。

高校1年 金野 琉聖

今回は、リーダー学年として団員をひっぱるべき立場だったのに、練習に参加できず仲間に迷惑をかけてしまいました。が、男子で歌った荒城の月や、混声は歌っていて楽しかったし良いコンサートだったと思います。健太康太さんのお話や歌も聞け、貴重な体験ができました。夏は今回より良いコンサートにできるように頑張りたいです。

小学6年 廣田 美月

私がかんばってきたことはソーランぶしです。最初の練習、私はみんなについていけずだめだめでした。でも、少しずつ家でも練習してだんだんできるようになりました。だめな所は練習してかんばってできるようになりました。そして本番、私はきんちょうしていました。でもここまでかんばってきたのでいっしょうけんめいやりようと思いました。そして始まりました。後半ははちまきがとれそうでドキドキしたけど最後までやりきれたのでよかったです。

小学6年 庄司 由季

私はソーラン節を踊るのははじめてだったので本番で失敗しないか不安でした。それから1列目で踊ることになったのでさらに不安が増えましたが、しっかり練習をしてミスなくせるように頑張りました。本番ではミスなく踊れて安心しました。

第2部の健太康太さんの歌、とてもすごかったです！また一緒にコンサートをしたいなと思いました。

夏のコンサートでやるミュージカルが楽しみです。

小学6年 川俣 快斗

よさこいで、みんなで一致団結できた気がしてすごく良かったなと思いました。

保護者 川俣 方美

雨の中、子供達の歌を聞きに来てくださったお客様方にとってもありがたく思いました。オープニングのよさこいもみんな一生懸命に踊っていてとてもかっこ良かったです。調子が悪く声が出せなくて悔しいけど、気持ちは200%で歌うから聞いてくださいと言っていた健太康太さん。

一生懸命に全力で歌うから是非聞いてください💎というその気持ちが、大切なんだという事を子供達も感じてくれたらいいなと思いました。

コンサートを見ていつも感じる事は、色々な方に支えられているなという事です。

よさこいを一生懸命にご指導くださった川戸さん、コンサートの為にわざわざ帰ってきてくれるOBやOG。歌の指導から色々な準備手配をしてくださる先生。保護者の方々の協力もなくてはできません。

みなさんに感謝です。ありがとうございました。



